

五感の学校 at 広尾

脳のアソビバ！



各界の第一人者による オトナの知的好奇心を満たす
トークやワークショップ 講座の数々
脳のアソビを ぜひ一緒にどうぞ！



第4回 『息と倍音の魅力』

2014年10月31日(金)18:00(17:30open)～20:00

MuCuL (ミュウカル) スタジオ

講師 中村明一

一倍音から日本の音・言葉・身体・感性を解き明かすー

レクチャー & 演奏

我が国を代表する尺八奏者・中村明一による 実演を交えた貴重なレクチャー
彼はまた《倍音》や《密息》の研究家としても有名で その著書も多数あります
日本文化を含む幅広い話と 五感に染み入る尺八の音色を ぜひご堪能ください

~~~~~

一つの音と思っても、実は多くの音の集合からできています。そこに含まれるものは「倍音」と呼ばれます。聞いているときは意識されない「倍音」。しかし、耳、皮膚を通して脳へ伝わり、それに対して脳は無意識の領域で様々な反応をします。

その結果、私達はそれぞれの倍音構造から多様な印象を受け取ります。言語も音楽も、この倍音構造によって万華鏡のような変化を遂げます。

さらにこの日本に住み、暮らし、日本語を話す私達にとって特別な事があります。姿勢、呼吸、言語です。これらと「倍音」が相乗効果を起こし、特別な世界を創り出します。それが日本の音文化です。

日本の文化の中で独自の変化をしてきた尺八。世界でもまれな、シンセサイザーのように倍音をコントロールすることが可能な楽器です。江戸時代のシンセサイザーともいべきこの楽器について知っていただき、倍音の変化をグラフで見ながら虚無僧の曲を聴いていただきます。

~~~~~

■演奏曲目

「鶴の巣籠」「薩慈」

■ 講師プロフィール 中村明一 (尺八奏者・作曲家)

横山勝也師、多数の虚無僧尺八家に師事。米国バークリー音楽大学およびニューイングランド音楽院大学院にて作曲とジャズ理論を学ぶ。「倍音」の研究を行うと共に自ら捜しあて極めた日本古来の呼吸法「密息」と、独自に開発した方法による循環呼吸を自在に操る。

作曲活動も活発に行い、NHK、ドイツ国営放送など各方面より委嘱作品多数。

CD「虚無僧尺八の世界」シリーズにて文化庁芸術祭レコード部門優秀賞。ほか作品にて第19回松尾芸能賞、第18回文化庁舞台芸術創作奨励賞など受賞多数。著書に『倍音』(春秋社)、『「密息」で身体が変わる』(新潮社)。『あの人の声は、なぜ伝わるのか』(幻冬舎エデュケーション)。桐朋学園芸術短大、洗足学園音楽大学大学院講師。朝日カルチャーセンター講師。日本現代音楽協会会員。

■ 司会進行：森正樹

(出版編集者、静岡大学客員教授、e-コミュニケーション・コンソーシアム理事・事務局長)

■ 代表：佐藤慶子

(作曲家、ピアニスト、ヴォイス・アーティスト、MuCuL代表)

■ 参加費：¥3,000(ドリンク、軽いつまみを含む)

■ 申込み先：MuCuL (ミュウカル) ※準備の都合上、事前のお申込みをお願いいたします。

E-mail:e-mucul@e-mucul.com <http://www.e-mucul.com> Tel03-3446-2618

■ 会場：住所 150-0013 東京都渋谷区恵比寿 2-21-3 MuCuL スタジオ

■ アドヴァイザー 森正樹 臼井支朗 湯川敬弘 飯田吉秋

■ 協力 山中修 ほか

■ 事務局 佐藤直陽 ■ 主宰 佐藤慶子 ■ 主催 MuCuL

● 《五感の学校 at 広尾》では、みなさまのご希望の講座、講師の方々を募集しています。

メールにてどうぞお知らせください。お待ちしております。

★特定の政治運動、宗教勧誘などの活動についてはお断りしております。ご了承ください。

《五感の学校 at 広尾》とは

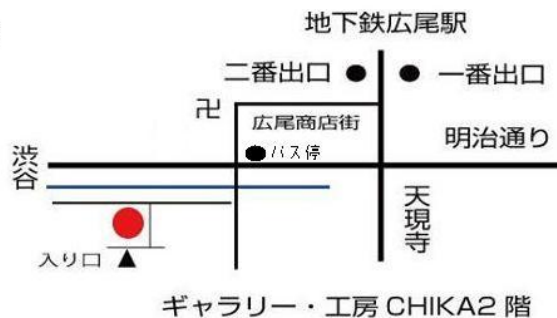
脳を柔軟かつゆたかに育むことは、人生の再発見につながります。“五感”を中心としたサイエンス(理学・工学・医学)から、音楽・美術・文学・映画などの幅広い分野まで興味ある話題を採り上げ、レクチャー、ワークショップや討論をもとに、アインシュタインが「音楽で物事を考える」といったとおり音楽演奏を交えて、コミュニケーションを高揚させる場を提供します。

■ MuCuL スタジオ

東京都渋谷区恵比寿2-21-3
TEL 03-3446-2618

地下鉄日比谷線 広尾駅
二番出口徒歩6分

渋谷駅より都バス0b系統
新宿行・赤羽行
広尾五丁目下車



※恵比寿駅からのアクセスは、上記ミュウカル HP をごらんください。